

# 目 次

## 特別研究

大正文化における演劇の位置	曾田秀彦	1
近世村落の研究—茨城県行方郡旧牛堀村須田家文書の検討	門前博之	5
東西思想の比較研究序説	遠山義孝	23
中国古代編戸制の研究—とくに聚落の変遷について	堀 敏 一	35
生きられる空間と都市	市川 浩	45

## 重点共同研究（中間報告）

戦争とアメリカ	井上謙治 他2名	65
---------	----------	----

## 重点個人研究（中間報告）

日本近代文学とフェミニズム	中山和子	67
演劇構造におけるコンヴェンションの問題についての研究	佐藤正紀	69
パウサニアス『ギリシャ案内記』研究	馬場恵二	70
日本と韓国と西ドイツの青年の質問紙による比較調査研究	岸本 弘	72

## 共同研究（中間報告）

森鷗外の史跡調査	大島田人 他1名	78
文学の中の現実を超えるもの	三浦清宏 他1名	79
オーストリア現代文学	佐藤俊哉 他1名	81
「第二」外国語教育	横谷文孝 他5名	83
フランス17世紀「メモリアリスト」の基礎的研究	内海利朗 他5名	85
国民体育大会の将来展望	原田 二 他1名	87
社会体育行政に関する実態調査	平川信夫 他7名	89
西ヨーロッパ農業誌研究	石井素介 他1名	92

## 個人研究

近松半二の研究	原 道 生	95
東北地方の文学遺跡調査	大久間 喜一郎	98
昭和十年代の文学の研究	佐藤 義 雄	101
説話における播磨、吉備地方の研究	野毛 孝 彦	105
イギリスにおけるカントリーハウスの研究	杉 恵 惇 宏	108
反逆児の成長—M. R. Anand の自伝的作品をめぐって	山本 恒	112
ジョン・ファルズ研究	結城 英雄	115
ハロルド・フレデリックと自然主義	亀山 照 夫	119
口誦文芸の研究	立野 正 裕	122
シェイクスピアの史劇および悲劇に関する研究	由井 武 夫	127
ドイツの教養市民階級と大学教授たち	杉浦 忠 夫	131
ドイツ犯罪文学の変遷	水野 光 二	135
ヴィクトール・ユゴと宗教	渡辺 誠 一	139
「ミシェル・ド・ロピタルへのオード」—ロンサールの詩の理想	高田 勇	143
村落生活史に関する基礎的研究	木村 礎	147

「信仰—知論争」への Hans Bröchner の基本姿勢	尾崎和彦	151
近代博物館成立期の研究	矢島国雄	155
V. S. ナイポールの話術の発展	M. ピーターセン	159
個人研究のうち他誌等へ発表のもの		
明治社会主義と文学との相関	吉田悦志	164
大正期文学の研究	坂上博一	164
近世文芸の研究	徳田武	165
古代日本文学と空間意識の研究	永藤靖	165
其角資料の集成	今泉準一	165
「五四退潮期」の北京文壇諸相	尾崎文昭	166
中国語の応用語学的研究	菱沼透	166
戦国秦漢法律文書の研究	西川つね子	167
中国語文法の研究	相原茂	167
近代戦争が社会に及ぼした影響の比較研究	入江則孝	168
米豪文化比較	越智道雄	168
イギリス民衆文芸研究	岡崎康一	169
身体と言語	近藤正毅	170
英国の経験主義と言語思想	浜口稔	170
シェイクスピアのロマンス劇	佐々木清明	171
ゲオルク・フォルスターとタヒチ島	藤平恵郎	172
現代小説研究	小畑精和	172
近代日本地方政治史	渡辺隆喜	173
太平洋戦争下の植民地労働力・兵力動員について	海野福寿	173
東京の地域研究	江波戸昭	173
アリストテレスに於ける形而上学と倫理学	角田幸彦	174
近現代の日本における先祖祭祀の変容に関する研究	孝本貢	175
博物館経営学——序論	倉田公裕	175
明治社会教育思想の研究——中村正直を中心に——	北田耕也	176
大学教師の任命方式に関する歴史的研究	別府昭郎	177
戦前期の旧制中学校における学生文化の研究	古屋野素材	177
16世紀フランドル絵画における風俗表現について	森洋子	178
日本体操史の研究	村山鉄次郎	179
アメリカ英語の分類語彙調査	堀内克明	179
現代中国の文化と社会の諸問題	岩崎富久男	180

注) 巻末の「人文科学研究所規程及び内規」は省略します。